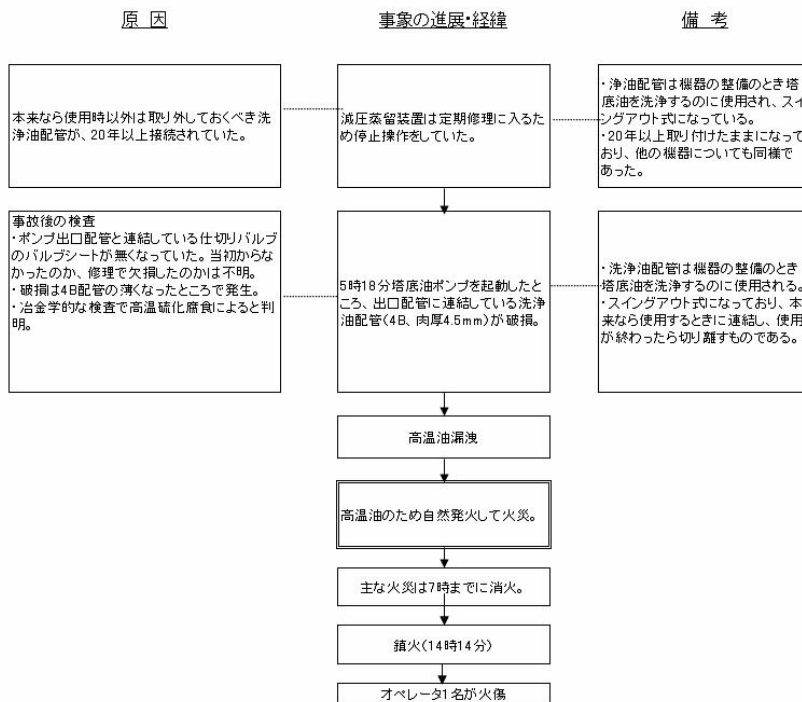




減圧蒸留装置の洗浄油配管から漏洩し火災

事象進展図

00246	減圧蒸留装置の洗浄油配管から漏洩し火災
発災年月日	2007/1/15
装置	減圧蒸留装置塔底の洗浄油配管
運転状況	定修入りの停止操作中
特徴	連結し、放置していた塔底洗浄用配管の腐食開口による高温油の漏洩・火災事故事例



再発防止対策
<p>① 機器に取り付けてある全てのスイングアウト式の洗浄油配管の調査を実施し取替え等の措置をする。 ② 使用しないときは、スイングアウト式の洗浄油配管はプロセス側の仕切り弁に仕切り板を挿入する。</p>
安全専門家コメント
<p>① 事例は、本来なら取り外して使用する洗浄油配管を20年以上取り付け使用していた。一箇所でもなく複数あり装置全体で慣習となっていた。事故が起きてみて当初の意図に立ち返った。 この事故情報の活かし方に、 (1) 自職場の装置にある洗浄油配管を確認する。 (2) 当初の意図から外れた方法で使っている設備・機器をリストアップする。 後者の活動をすると事故情報の活用が深みが出てきて、情報をわが身に引き寄せて応用していくことができ、安全の喜びが体感できる。結果として自職場が活性化される。 ② 装置は長年運転すると使用しない配管いわゆる不用配管が存在するようになる。設計当初と異なった運転方法に変更したり、外部の要件などで特殊な運転が必要になり原に取付けた配管を作業終了後に撤去せずに残したりと理由は様々であるが、その類のものの管理にも注意を要する。まず不用のものは撤去するのが原則であり、残す場合は上記1項の管理が必要である。</p>

引き金事象発生の原因	事故の引き金事象	事故に関係した直接・間接要因
<p>・洗浄油配管の取り外しの未実施 ・バルブシート欠損 ・検査による確認不足</p>	<p>油洗浄用配管の高温硫化腐食による開口</p>	<p>【管理・運営要因】 作業の基準・マニュアル類の不備・不十分 【調達・検査要因】 検査ミス 【保守・点検要因】 点検・検査不良</p>



減圧蒸留装置の洗浄油配管から漏洩し火災

添付資料・参考文献・キーワード

参考資料（文献など）

・ Final investigation report of fire, January 15, 2007

▶ 添付資料

▶ キーワード(> 同義語)

- 🔑 配管 > パイプ
- 🔑 高温硫化物腐食
- 🔑 減圧蒸留装置 > VDU, HVU
- 🔑 塔底油 > ボトム油, BTM油
- 🔑 減圧残油系
- 🔑 弁 > バルブ

▶ 関連情報



[Contra Costa Health Services, Fire at Richmond Refinery](http://www.conracosta.com/HealthServices/Fire%20at%20Richmond%20Refinery)